

# 公立高校 入試「外国人枠」26都道府県

## 本紙調査 文科省 拡充要請へ

今春の公立高校入試で、外国人生徒対象の特別枠などが26都道府県に設けられ、定員も拡充されたことが読売新聞の調査で分かった。改正出入国管理・難民認定法が昨年施行され、外国人のさらなる増加が見込まれており、文科省では新年度、外国人生徒の進学機会の拡充を全国の教育委員会に求める。

調査によると、広島、福井の2県で新設され、5都府県で募集人員が拡充された。東京都は6年連続で増えて8校150人、大阪府では7校96人だった。在住外国人数が国内有数の愛知県も昨春、9校で「若干名」だったが、11校で「募集人員の5%（138人）程度まで」とした。志願者は63人で前年より21人増えたが、合格者は38人にとどまった。ある高校では「外国人生徒を支援する教員が足りない」とその理由を説明する。

文科省によると、2017年度の日本語指導が必要な外国人高校生らの中退率は9.6%と、全公立高校生

※日本人の帰国生を含む場合もある。【】内は前年比

### ◆今春の公立高入試(全日制)での外国人生徒の特別枠

新設	福井2校6人、広島87校 各校2人以内
拡充	埼玉12校90人【2校10人増】
	東京8校150人【1校20人増】
	愛知11校 募集人員の5% (138人) 程度【2校増】
	大阪7校96人【4人増】
	奈良3校16人程度【1校6人増】

徒の1.3%を大きく上回る。日本語指導が十分に受けられず、授業についていけないためとみられる。

文科省の有識者会議では今月16日、外国人生徒の教育に関する報告書をまと

外国人生徒対象の特別枠 日本在住3～6年以内な国籍の生徒を多めに募集枠を設け、一般の生徒とは別に入試を行う。面接や作文で選考する。

め、公立高校の外国人生徒の受け入れ促進を提言。これを受け文科省は、特別枠の設置や入試での配慮、入

学後の指導充実などを各都道府県に通知する方針だ。外国人の教育に詳しい愛知淑徳大の小島祥美・准教授は「高校入試での対応は自治体間の差が大きい。日本で働く外国人が増える入学後の学習支援体制を整えるべきだ」と

**飛び入学 3人合格**

千葉大「17歳の大学生」誕生へ

大分県中津市に十九日届いた。同日、同市立大分県立中津高等学校から、同大に飛び入学する学生が三人合格した。合格者は、同大の理工学部の物理学科、化学科、生物学科の各一人ずつである。合格者は、それぞれ、同大の理工学部物理学科の佐藤和俊さん、同大の理工学部化学科の佐藤和俊さん、同大の理工学部生物学科の佐藤和俊さんである。合格者は、それぞれ、同大の理工学部物理学科、化学科、生物学科の各一人ずつである。合格者は、それぞれ、同大の理工学部物理学科、化学科、生物学科の各一人ずつである。

1998年1月、人生が一新した。17歳の大学生が誕生するとあって、大きな脚光を浴びた。

「飛び入学 3人合格」

3/22 秋久

## 高2で開いた物理の扉

# あれから

Vol.2 17歳の大学生

当時、高校2年生だった佐藤和俊さん(39)には、新聞の見出しが面はゆかった。「科学技術の最先端を切り開く人材を育てたい」と、千葉大学が全国で初めて導入した飛び入学制度。合格者3人のうちの1人に選ばれた佐藤さんも、「大好きな物理の勉強に没頭できる」と意気揚々と大学の門をくぐった。

あれから22年。佐藤さんは今、大型トレーラーの運転手となつて、夜明けの街を疾走している。

(社会部 朝来野祥子、30面に続く)

高校の化学部で活動していた佐藤さんと、千葉大学からの合格通知



受験番号	氏名	合格
T811 3	佐藤 和俊	合